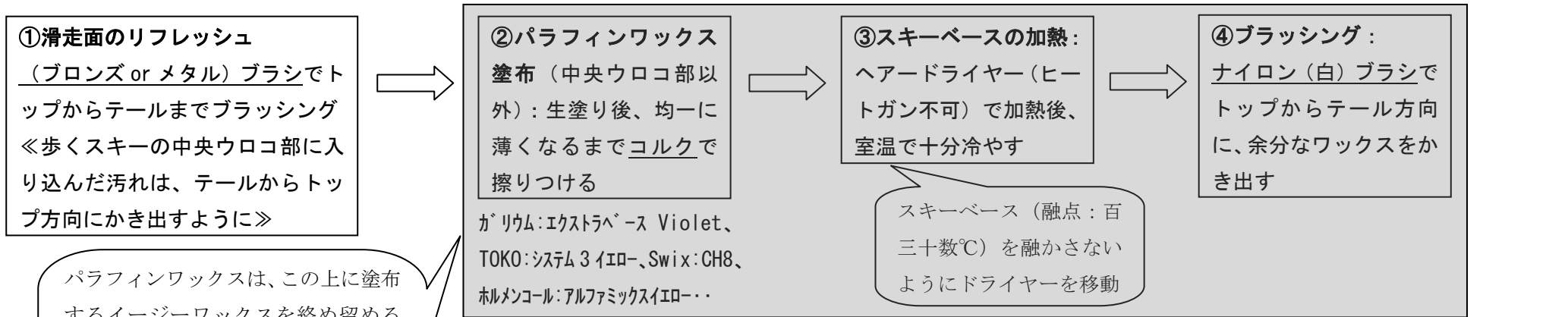
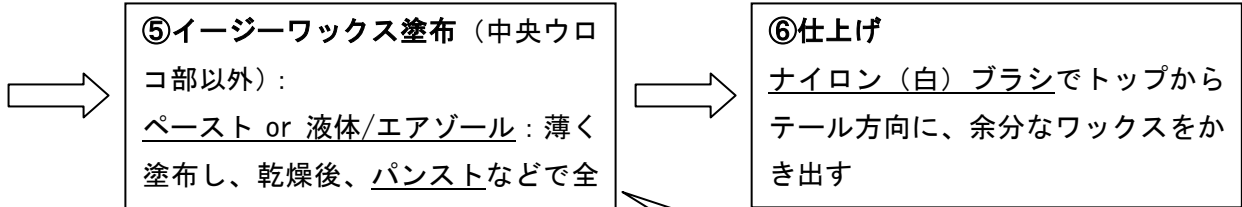


アイロンを使わない簡易ワクシング方法（歩くスキー用）



パラフィンワックスは、この上に塗布するイージーワックスを絡め留める役割(=ベースワックス)。加熱によってパラフィンワックスがスキーベースに浸透し、ワックスの耐久性がアップ



歩くスキーの中央ウロコ部に液体/エアゾール(固形ワックスは不可)を塗布しても良い(氷結防止)

☆ワクシングパターン(アウターラインの工程は必須)

パターン1 (長持ちしない):
(①) → ⑤ → (⑥) → 滑走

耐久性の高い順:
①固形、②ペースト、
③液体/エアゾール

パターン2 (パターン1よりは少し長持ち):
① → ② → (③) → ④ → ⑤ → (⑥) → 滑走

変形パターン (パターン1よりは少し長持ち、滑走性はパターン2より劣る):
① → ② → (③) → ④ → 滑走

<TIPS>②の工程で雪温に適合したパラフィンワックスを選択すると、ワックスの耐久性、スキーの滑走性がより向上します → このレベルを求めるようになったなら、アイロンを使ったホットワクシングに移行しましょう